

4月の予定

日	曜	主な予定	最終下校		部活
			前期	後期	
1	日				×
2	月				☆
3	火				☆
4	水				☆
5	木	入学式準備 (新8,9年生)			☆
6	金	着任式・後期課程進級式・始業式 入学式	12:00	12:00	×
7	土				☆
8	日		1年生 下校		☆
9	月	発育測定 通学班集会	13:30	15:15 16:35	×
10	火		13:30	16:15 17:30	○
11	水		13:30	16:15 16:35	×
12	木		13:30	16:15 17:30	○
13	金		13:30	16:15 17:10	学級の日
14	土				☆
15	日				☆
16	月	人権推進校交付式		15:15 16:35	×
17	火	全国学力学習状況調査(6,9年) 知能検査(2,5,7年)		16:15 17:30	○
18	水	スクールカウンセラー来校 委員会		16:15 16:35	×
19	木			16:15 17:30	○
20	金	志授業(授業・講話) 心電図(1,4,7年)		16:15 17:10	学級の日
21	土				☆
22	日				○
23	月	命を守る訓練(引き渡し訓練)		15:15 15:15	×
24	火			16:15 17:30	○
25	水	学園総会		16:15 16:35	×
26	木			16:15 17:30	○
27	金	授業参観・PTA総会・学級懇談会 新1年生を迎える会		14:45 14:45	×
28	土				☆
29	日	昭和の日			☆
30	月	振替休日			☆

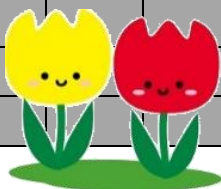
転入職員のお知らせ

年度初めの人事異動で、下記の職員が学園に転入となりました。これから、学園や白川村のために、精一杯頑張ります。よろしく願いいたします。

教諭	中畑 訓子
高山市立丹生川小学校より	
教諭	高木 良太
岐阜大学教育学部附属小学校より	
教諭	鈴木 益子
岐阜市立加納西小学校より	
教諭	畑中 大志
下呂市立宮田小学校より	
教諭	藤田 雄也
新規採用	
養護教諭	野島 友紀
山県市立桜尾小学校より	
事務主事	船坂 友涼
郡上市立郡上東中学校より	
常勤講師	井端 祐介
新規採用	
非常勤講師	石田 哲也
初任者指導・初任者後補充	
非常勤講師	山田 守
技術科担当	

5月 主な予定

- 1日(木)学費口座振替日
- 2日(金)村教育会総会
- 8日(火)スポーツテスト
- 8日(火)~10(木)家庭訪問
- 17日(木)新沢としひこさん
スクールコンサート
- 18日(金)尿検査1次
- 28日(月)尿検査2次
- 24日(木)北方南小との交流
- 29日(火)~30日(水)
6年修学旅行
- 31日(木)花柳琴臣講座





ワクワクあふれる義務教育学校

白川郷学園

ひとりだち

自立・共生・貢献

白川郷学園だより 年度初め号
平成30年 4月6日

ホームページ
<http://school.shirakawa-go.org>

誰もが輝く学校 ひとりだちの教育

校長 水川 和彦

白川郷学園の義務教育学校としての2年目が始まりました。ピカピカの新1年生14名と3年生の転入生1名を迎え、全校児童生徒116名で新学期のスタートです。

今年度は、玄関を入ると、ホールの大黒柱に掲げられた2尺×6尺の力強い「ひとりだち」の書が子どもたちを迎えます。書を書いてくださった内閣府辞令専門官の茂住青邨さんは飛騨の出身で、組閣の際、天皇陛下が読み上げられる大臣の辞令や官邸の看板、国民栄誉賞の揮毫等がされている方です。縁あって、今年3月、第1回の学園卒業式にあわせ書いていただきました。

2年生のみやまるゆいなさんが、茂住さんへのお礼の手紙に「この字はげんかんにあります。あさみると、『きょうもがんばろう。』とおもいます。かえるときも力をもらいます。ほんとうにすごい字です。」と書いてくれましたが、まさにその通りのエネルギーあふれる書です。

この力強い文字のように、今年1年、学園のどの子どもが、ひとりだちに向けて、また一回り大きく豊かに育っていくことを期待しています。

私は、「どの子にも、世界中にたった一人のその子にしかない、輝くよさがある」と信じています。それは、誰かと比べるようなものではなく、その子自身を強くしたり豊かにしたりするよさで、人間としてのその子らしさを支えるよさだと思っています。

ただ、そのためには自分自身の努力も必要です。明日こそ頑張ろうと思っても、人間、目が覚めればそこは明日ではなく、今日でしかありません。頑張ることができるのは、今しかありません。今、頑張らなければ、明日の自分はみげないことを子どもたちに、きちんと教えようと思います。

一昨日、大会史上3校目の春の甲子園連覇という快挙を成し遂げた大阪桐蔭高校の根尾昂選手もルーツはこの白川村です。2年連続優勝投手という強肩、強心臓に比類なき才能を感じるのは当然ですが、実は、あの大阪桐蔭にあって誰もよりも礼儀正しく、練習でも決して手を抜かない一番の努力家が根尾選手であると多くの人が語ります。

昨年夏の大会で、エラーをきっかけに優勝を逃した悔しさを胸に刻み、大阪桐蔭は間違いなく全国一の練習を重ねてきたに違いありません。才能があったから優勝したのではなく、「才能を最大限に発揮できる力を磨いてきた」からこそ、優勝という結果がついてきたのだと思います。今大会、大阪桐蔭は、決勝戦まで、終盤7回以降のエラーは0でした。全ての練習に「価値」を見出し、本番のような真剣さで「誰でもできるような基本の練習を、誰もできないほど繰り返した」からこそ、圧倒的な実力を磨き上げたに違いありません。

この1年、白川郷学園も、強い心を磨き、困難にも立ち向かう力を育てる「ひとりだちの教育」を展開します。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ白川郷学園の教育に力をお貸しください。

